

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和2年10月1日(2020.10.1)

【公表番号】特表2020-500955(P2020-500955A)

【公表日】令和2年1月16日(2020.1.16)

【年通号数】公開・登録公報2020-002

【出願番号】特願2019-522569(P2019-522569)

【国際特許分類】

C 08 L	33/14	(2006.01)
C 09 D	5/00	(2006.01)
C 09 D	133/08	(2006.01)
C 09 D	133/10	(2006.01)
C 09 J	133/08	(2006.01)
C 09 J	133/10	(2006.01)
C 09 J	7/38	(2018.01)
C 08 F	220/30	(2006.01)
C 08 F	220/18	(2006.01)

【F I】

C 08 L	33/14	
C 09 D	5/00	Z
C 09 D	133/08	
C 09 D	133/10	
C 09 J	133/08	
C 09 J	133/10	
C 09 J	7/38	
C 08 F	220/30	
C 08 F	220/18	

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月20日(2020.8.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

架橋性組成物であって、

1) 50,000~500,000ダルトンの範囲内の重量平均分子量を有する第1の(メタ)アクリレートポリマーであって、前記第1の(メタ)アクリレートポリマーは、

a) アルキル(メタ)アクリレート、及び

b) 任意の、紫外線に曝露された時に架橋可能となる芳香族ケトン基を有するUV架橋性モノマーを含む第1のモノマー組成物の反応生成物であり、前記UV架橋性モノマーは、前記第1のモノマー組成物中のモノマーの総モルに基づき0~0.3モルパーセントの範囲内の量で存在する、第1の(メタ)アクリレートポリマーと、

2) 50,000~500,000ダルトンの範囲内の重量平均分子量を有する第2の(メタ)アクリレートポリマーであって、前記第2の(メタ)アクリレートポリマーは、

a) アルキル(メタ)アクリレート、及び

b) 紫外線に曝露された時に架橋可能となる芳香族ケトン基を有するUV架橋性モノマーを含む第2のモノマー組成物の反応生成物であり、前記UV架橋性モノマーは、前記第2のモノマー組成物中のモノマーの総モルに基づき0~0.3モルパーセントの範囲内の量で存在する、第2の(メタ)アクリレートポリマーと、

マーを含む第2のモノマー組成物の反応生成物であり、前記UV架橋性モノマーは、前記第2のモノマー組成物中のモノマーの総モルに基づき少なくとも1モルパーセントに等しい量で存在する、第2の(メタ)アクリレートポリマーと、

を含み、

前記架橋性組成物は、粘着付与剤を含まないか、又は実質的に含まない、架橋性組成物。

【請求項2】

前記架橋性組成物中の(メタ)アクリレートポリマーの総重量に基づき、前記第1の(メタ)アクリレートポリマーが80~98重量パーセントの範囲内の量で存在し、前記第2の(メタ)アクリレートポリマーが2~20重量パーセントの範囲内の量で存在する、請求項1に記載の架橋性組成物。

【請求項3】

紫外線に曝露された請求項1に記載の架橋性組成物の反応生成物を含む架橋された組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0155

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0155】

試験対象の試験片を、接着剤側を上にして、作業面上に配置する。試験片は、傾斜台が試験片の上方に配置された後に、少なくとも12インチ(300mm)のテープが露出するように位置付けられる。傾斜台の反対側に位置する試験片の端部は、テープによって作業面に保持される。清浄で乾燥したトングを用いて、5.6グラムのボールを傾斜台の最上部におけるリリースピンの上側に配置する。ボールの中心から作業面までの鉛直距離は2.75インチ(70mm)である。リリースピンを押し下げるこことによって、ボールは解放されて傾斜台を滑り降り、ボールが接着剤表面上を転がって停止することが可能となる。ボールが最初に接着剤と接触する場所から、ボールが停止する地点までの距離を測定する。